

「コミュニケーション英語Ⅱ」学習指導案

愛知県立岡崎西高等学校

教諭 佐々木 登幸

1. 日時・実施場所

平成28年9月28日（水） 第4限（11：50～12：40） 2年5組教室

2. 学級

普通科 第2学年5組（男子13名、女子24名、計37名）

3. 学級観

素直な生徒が多く、与えられた活動に積極的に取り組む姿勢が見られるようになってきた。習熟の差は少し見られるものの、教師の発問に対し自分の意見を全体の前で述べる事が出来る生徒もいる。

4. 教材

教科書 *ELEMENT English Communication II*（啓林館）

単元名 Lesson 6 The Solar System's Biggest Junkyard（該当箇所：pp.77-86）

5. 単元の目標

宇宙ごみの原因や問題点を理解した上で、宇宙ごみ問題の解決策や宇宙開発に関する問いに対し、自分で調べた資料を基に意見を述べる事ができるようになる。

6. 単元の評価規準

評価の観点	1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
評価規準	①ペアワークなどの活動に積極的に参加している。 ②相手に伝わるように話し、積極的に英語でのコミュニケーションを持続させようとしている。	①読んだり聞いたりした内容について、概要を自分の言葉で分かりやすく伝えることができる。 ②宇宙開発に関する問いに対し、自分の言葉で意見を述べたり、相手の意見に自分なりの見解を付け加えたりすることができる	①読んだり聞いたりした内容について、概要などを正しく理解することができる。 ②宇宙開発に関する問いや、相手の意見を正しく理解することができる。	①二重否定、部分否定、関係副詞の that について基本的な使い方を理解している。 ②読んだり聞いたりした内容について、概要をまとめたり、自分の意見を伝えたりする表現を理解している。
内容のまとめ	①聞くこと・話すこと ②聞くこと・話すこと	①話すこと・書くこと ②話すこと・書くこと	①聞くこと・読むこと ②聞くこと・読むこと	①聞くこと・読むこと ②聞くこと・読むこと
評価方法	①活動の観察 ②活動の観察	①活動の観察 定期考査 ②活動の観察 定期考査 ③ライティング活動	①活動の観察 定期考査 ②活動の観察 定期考査	①活動の観察 定期考査 ②活動の観察 定期考査

7. 単元の指導計画

指導内容	配当時間
レッスンの導入・段落1～3の内容理解	1時間（本時）
段落1～3の内容理解とインテイク活動としての音読	1時間
段落1～3のインテイク活動としての音読・アウトプット活動としてのリテリングと意見交換	1時間
段落4～7の内容理解	1時間
段落4～7の内容理解・インテイク活動としての音読	1時間
段落4～7のインテイク活動としての音読・アウトプット活動としてのリテリングと意見交換	1時間
レッスンのまとめ	1時間

8. 本時の目標

ア 「日本は宇宙観光産業の開発をすべきか。」という問いに対し、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いた上でさらに自分の意見を付け加えたりすることができる。

イ ペア・グループ活動等に積極的に参加し、積極的に英語でのコミュニケーションを持続させることができる。

9. 本時の評価規準

評価の観点	1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
評価規準	①ペアワークなどの活動に積極的に参加している。 ②相手に伝わるように話し、積極的に英語でのコミュニケーションを持続させようとしている。	①宇宙開発に関する問いに対し、自分の言葉で意見を述べたり、相手の意見に自分なりの見解を付け加えたりすることができる。	①宇宙開発に関する問いや、相手の意見を正しく理解することができる。	①読んだり聞いたりした内容について、概要をまとめたり、自分の意見を伝えたりする表現を理解している。
内容のまとめ	①聞くこと・話すこと ②聞くこと・話すこと	①話すこと・書くこと	①聞くこと・読むこと	①聞くこと・読むこと
評価方法	①活動の観察 ②活動の観察	①活動の観察 ②ライティング活動（後日）	①活動の観察	①活動の観察

10. 本時の展開（「主な評価の観点」の（ ）内の数字は、「9. 本時の評価規準」における4つの「評価の観点」を示す。）

時間 (分)	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価 方法
1	あいさつ	・あいさつをする。	・数名に調子を尋ねる。		
1	本時の目標と 注意事項	・教師の話聞く。	・本時の目標を確認する。		
6	スモールトーク	・”Do you want to take a trip to space?” のテーマでペアで2分間話す。その後、指名された生徒は全体の前で発表する。	・答える際は理由→相手の意見要約→自分の意見と理由の順で言うことを伝える。	・積極的に活動をしているか。(1)	活動の 観 察
15	グループでの 意見共有	・「日本は宇宙観光産業の開発をすべきか。」という問いに対して用意してきた利点・欠点をグループで共有する。	・グループ内で役割を与えることにより、活動を円滑に進める。 ・グループ内で出た意見に、因果関係などに基づいた追加情報を加えるよう促す。	・積極的に活動をしているか。(1) ・宇宙開発に関する問いに対し、自分の言葉で意見や追加情報を述べたり、相手の意見を正しく理解したりしているか。(2)(3)(4)	活動の 観 察
25	全体での意見 共有	・グループで出た意見を代表者が全体で共有する。	・生徒の発表を板書し、ポジティブフィードバックを与える。 ・全体の場でも因果関係などに基づいた追加情報を加えるよう促す。	・積極的に活動をしているか。(1) ・宇宙開発に関する問いに対し、自分の言葉で意見や追加情報を述べたり、相手の意見を正しく理解したりしているか。(2)(3)(4)	活動の 観 察
2	まとめと あいさつ	・教師の話聞く。 ・あいさつをする	・全体にフィードバックを与える。		

11. 御高評